



# 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 NEW ART

コード番号 7638 URL <http://www.newart-ir.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白石 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8098

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	7,100	17.8	968	30.8	962	32.2	762	7.4
28年3月期第2四半期	6,025	74.0	740	—	728	—	710	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 767百万円 (8.0%) 28年3月期第2四半期 710百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	2.29	—
28年3月期第2四半期	2.14	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	11,569	57.6	6,665	57.6	6,665	57.6
28年3月期	10,766	54.8	5,898	54.8	5,898	54.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,665百万円 28年3月期 5,898百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	13,272	4.1	1,226	△31.0	1,193	△32.2	938	△27.9	2.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P4.「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	332,527,514 株	28年3月期	332,527,514 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	109,086 株	28年3月期	108,675 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	332,418,738 株	28年3月期2Q	332,420,447 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、[添付資料]P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）におけるわが国経済は、一部で弱さも見られたものの、雇用・設備投資等の改善が見られ、緩やかな回復基調が続きました。個人消費は、総じて底堅い動きで推移しました。

このような経済状況のもと、当第2四半期連結累計期間における、当社グループの業績は、ジュエリー事業及びエステ事業いずれも売上が好調に推移したことにより、当初の計画を大きく上回る結果となりました。なお、平成28年9月12日には、第2四半期連結累計期間の業績予想の修正を公表いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高71億円（前年同四半期比17.8%増）、営業利益9億68百万円（前年同四半期比30.8%増）、経常利益9億62百万円（前年同四半期比32.2%増）となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、7億62百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。

セグメントごとの状況は以下のとおりです。

## ①ジュエリー・アート事業

当第2四半期連結累計期間における、ジュエリー・アート事業の売上高は53億17百万円（前年同四半期比19.8%増）、セグメント利益は8億43百万円（前年同四半期比37.8%増）となりました。第1四半期から引き続き来店客数が増加していることに加え、成約率も上昇しており、売上が引き続き伸びております。またアート事業においても、取引が順調に伸びており、業績の向上に寄与しています。

なお、当会計期間に金沢店の拡張移転、広島店の全面リニューアルを実施しましたが、下期においても、今後の業容拡大に効果的な店舗開発や広告宣伝の強化などに注力し、より一層の業績拡大に寄与する施策を進めてまいります。

## ②エステ事業

当第2四半期連結累計期間における、エステ事業の売上高は17億83百万円（前年同四半期比12.4%増）、セグメント利益は1億45百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。期首に行ったエステティシヤンの増員が奏功し、施術が進行することによる売上増進に加え、店販商品の販売拡充がなされたことにより業績が向上いたしました。

当社グループのセグメント別売上は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第2四半期連結累計期間（千円） （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	前年同四半期比 （%）	構成比 （%）
ジュエリー・アート事業	ブライダル関連・美術品の販売・サービス	5,317,018	19.8	74.9
エステ事業	エステティックサロンの運営、化粧品等の販売	1,783,391	12.4	25.1
合 計		7,100,410	17.8	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税は含んでおりません。

2. セグメント間の取引については相殺消去しております。

3. 「ジュエリー・アート事業」は、ブライダルジュエリー・ファッションジュエリー・アートジュエリー・美術品の販売およびウェディング送客サービス、ティアラ・レンタルサービスの売上となっております。

4. 「エステ事業」は、連結子会社のエステ施術サービスおよび化粧品・栄養食品・美容機器販売の売上となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比6億14百万円増加（前連結会計年度末比8.6%増）し、77億89百万円となりました。現金及び預金は8億11百万円減少しておりますが、これは、設備投資や仕入及び関連会社への出資を強化したことによるものであります。したがって、商品及び製品は9億20百万円増加、受取手形及び売掛金は2億68百万円増加、短期貸付金は1億1百万円増加となりました。

固定資産は、前連結会計年度末比1億89百万円増加（同5.3%増）し、37億80百万円となりました。主な要因として、有形固定資産の増加70百万円、関係会社長期貸付金の増加70百万円、投資有価証券の増加50百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比8億3百万円増加（同7.5%増）し、115億69百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比86百万円増加（前連結会計年度末比2.0%増）し、43億62百万円となりました。これは、短期借入金の増加2億95百万円、未払金及び未払費用の増加50百万円、未払法人税等の減少1億43百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比50百万円減少（同8.6%減）し、5億41百万円となりました。主な要因としては、長期借入金の減少50百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比36百万円増加（同0.7%増）し、49億4百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比7億67百万円増加（前連結会計年度末比13.0%増）し、66億65百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加7億62百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は57.6%（前連結会計年度末は54.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第2四半期連結累計期間の業績は好調に推移しましたが、今後の業績につきましては、現時点では不確実な部分もありますので、平成29年3月期通期の連結業績予想については、平成28年5月10日公表の業績予想から変更はありません。なお今後、業績予想について変更がある場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,535,917	1,724,360
受取手形及び売掛金	1,823,217	2,091,369
商品及び製品	2,445,625	3,365,744
原材料及び貯蔵品	82,002	102,649
前払費用	122,878	134,845
短期貸付金	3,100	104,120
繰延税金資産	128,278	120,748
その他	37,021	163,417
貸倒引当金	△3,022	△18,152
流動資産合計	7,175,019	7,789,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	692,448	718,371
車両運搬具(純額)	0	594
工具、器具及び備品(純額)	883,798	942,371
建設仮勘定	14,582	—
有形固定資産合計	1,590,829	1,661,337
無形固定資産		
ソフトウェア	17,126	13,110
電話加入権	4,932	4,932
のれん	387,185	376,625
その他	100	100
無形固定資産合計	409,344	394,769
投資その他の資産		
投資有価証券	66,930	116,930
長期前払費用	15,580	12,114
関係会社長期貸付金	213,300	283,300
敷金及び保証金	1,030,027	1,049,848
繰延税金資産	11,885	7,121
その他	266,792	268,812
貸倒引当金	△13,521	△13,521
投資その他の資産合計	1,590,996	1,724,607
固定資産合計	3,591,169	3,780,714
資産合計	10,766,189	11,569,816

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	154,516	134,859
短期借入金	1,800,000	2,095,000
1年内返済予定の長期借入金	99,140	100,880
未払金及び未払費用	536,317	586,397
未払法人税等	351,031	207,952
前受金	1,107,236	1,121,298
その他	227,166	115,890
流動負債合計	4,275,408	4,362,278
固定負債		
長期借入金	400,860	350,420
退職給付に係る負債	188,755	189,279
長期末払金	2,538	1,607
その他	500	500
固定負債合計	592,653	541,807
負債合計	4,868,062	4,904,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,376,152	2,376,152
利益剰余金	909,143	1,671,632
自己株式	△2,040	△2,055
株主資本合計	5,900,507	6,662,981
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,380	2,748
その他の包括利益累計額合計	△2,380	2,748
純資産合計	5,898,127	6,665,730
負債純資産合計	10,766,189	11,569,816



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,025,603	7,100,410
売上原価	2,470,519	3,113,219
売上総利益	3,555,084	3,987,190
販売費及び一般管理費	2,814,415	3,018,681
営業利益	740,669	968,509
営業外収益		
受取利息	89	3,080
為替差益	—	2,788
その他	1,471	680
営業外収益合計	1,561	6,550
営業外費用		
支払利息	9,975	12,151
為替差損	3,849	—
社債利息	353	—
その他	50	171
営業外費用合計	14,228	12,323
経常利益	728,002	962,736
特別損失		
固定資産除却損	—	652
減損損失	4,145	9,685
特別損失合計	4,145	10,338
税金等調整前四半期純利益	723,856	952,398
法人税、住民税及び事業税	156,895	177,616
法人税等調整額	△143,070	12,293
法人税等合計	13,825	189,910
四半期純利益	710,030	762,488
親会社株主に帰属する四半期純利益	710,030	762,488

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	710,030	762,488
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	891	5,129
その他の包括利益合計	891	5,129
四半期包括利益	710,922	767,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	710,922	767,617

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
営業収入	6,684,735	7,351,802
原材料又は商品の仕入れによる支出	△1,979,119	△3,495,833
人件費の支出	△1,394,248	△1,484,174
その他の営業支出	△2,404,720	△2,743,403
小計	906,646	△371,608
利息及び配当金の受取額	88	1,015
利息の支払額	△9,882	△12,027
法人税等の支払額	△48,069	△325,603
営業活動によるキャッシュ・フロー	848,782	△708,223
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△145,335	△110,773
無形固定資産の取得による支出	△6,539	△88
敷金及び保証金の差入による支出	△5,335	△40,261
敷金及び保証金の回収による収入	9,406	30,585
長期貸付金の回収による収入	640	—
短期貸付けによる支出	—	△102,620
短期貸付金の回収による収入	120	100
関係会社貸付けによる支出	△32,300	△70,000
資産除去債務の履行による支出	—	△3,657
子会社株式の取得による支出	—	△50,000
その他の支出	△1,102	△782
投資活動によるキャッシュ・フロー	△180,447	△347,497
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	755,000
短期借入金の返済による支出	△60,000	△460,000
長期借入金の返済による支出	△180,000	△48,700
社債の償還による支出	△50,000	—
自己株式の取得による支出	△40	△14
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△24,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314,040	246,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	269	△2,121
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	354,564	△811,556
現金及び現金同等物の期首残高	811,819	2,535,917
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,166,384	1,724,360

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ジュエリー・ア ート事業	エステ事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,438,576	1,587,027	6,025,603	—	6,025,603
セグメント間の内部売 上高又は振替高	43	—	43	△43	—
計	4,438,619	1,587,027	6,025,646	△43	6,025,603
セグメント利益	611,686	144,773	756,460	△15,791	740,669

(注) 1. セグメント利益の調整額15,791千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ジュエリー・アート事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、4,145千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ジュエリー・ア ート事業	エステ事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,317,018	1,783,391	7,100,410	—	7,100,410
セグメント間の内部売 上高又は振替高	237	31	269	△269	—
計	5,317,255	1,783,423	7,100,679	△269	7,100,410
セグメント利益	843,193	145,371	988,564	△20,055	968,509

(注) 1. セグメント利益の調整額20,055千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。